



東四つ木在宅サービス センターだより

2013年5月

社会福祉法人厚生福祉会
東四つ木在宅サービスセンター
所長 遠藤 康弘
電話 5670-3531

地球の未来と「もったいない」の心

社会福祉法人 厚生福祉会
理事長 林 康子

今年の桜も春の嵐と共にあっという間に散ってしまいました。皆様も「あ～もったいない」と眺められたことでしょう。

「もったいない」という言葉は、女性初の環境問題でノーベル平和賞を受賞したワンガリ・マータイさんが世界に広めた国際語です。彼女が取り組む資源の有効活用を一言で表す言葉であり、さらに命の大切さや、かけがえのない地球資源に対する尊敬の念も込められている事を知り、子ども達、次世代へのメッセージを含んだ言葉として深く感銘されました。

私の手許に木製の丸い“靴下の穴かがり”の道具があります。戦時中母が疎開先に持ち込んでいた品物です。私は今これを使って靴下や手袋をかがっています。使い捨ての時代になって久しいですが、未来の子ども達の為に「もったいない」の理念を、高齢者の使命としてもっと広めていきたいと思います。

今年度もセンターで楽しく過ごされるようお待ちしております。



ご挨拶

東四つ木在宅サービスセンター・東四つ木介護サポートセンター
所長 遠藤 康弘

私がセンターに来てから1年が経ちました。

ふり返れば、この1年はこれまでになく天気や気候の変化が激しい年だったという気がしています。まず4月早々に春とは思えない台風並みの激しい雨と風が襲ってきました。そして、酷暑の長い夏、やっと穏やかな秋が来たと思う間もなく厳しい寒さの冬へと季節は変わりました。また、予想すらできなかった観測史上最速タイという早い桜の開花、気候の変化の激しさを象徴するような出来事ですね。

このような1年でしたが、センターはお陰様で常に笑いと活気にあふれていました。コーラスや健康麻雀などの新しい活動も始まったほか、納涼会を初めとする様々な行事にも皆様全力で取りくまれ、正しくセンターの元気さは御利用者の皆様がもたらして下さったものです。

センターでは今年度も皆様と一緒に新しい活動にも取り組んでいきたいと考えておりますので、変わらぬご支援を頂けますよう、よろしくお願い申し上げます。



今年度の活動プラン

レクリエーション活動

レクリエーション活動は、楽しみながら体を動かし、脳の活性化を図り、それらを通じて交流を深めていただく事を目的に行っております。

昨年度は、コーラス、健康マージャンなど新しい活動も取り入れて皆さんと楽しい時間を過ごす事ができました。映画鑑賞会では、時代劇からジブリまで皆さんのリクエストを中心に行ってきました。懐かしの名画、最近の話題作など「観たい作品」がありましたらぜひお知らせください。また、第2回将棋大会も開かれました。次回は囲碁やおセロ、麻雀大会などの開催も楽しいですね。

今年度も皆さんに楽しんでいただけるようたくさんの計画を立てております。また、新しい企画、アイデアも募集中です。「笑顔がいっぱいのレクリエーション活動」を一緒に作りましょう。



創作活動

創作活動では、利用者の皆さんの「生活の質の向上」を目的として活動を進めており、そして、その成果を毎年11月に行われるセンターの作品展で発表させて頂いております。

今年も作品展へ向け、刺し子を利用したタペストリーの共同制作を予定しております。縫い物の苦手な方も職員がお手伝い致しますので、ぜひお気軽にお越しください。

その他にも地域のボランティア講師の指導による華道、書道、絵手紙、ちぎり絵、俳句の会もございます。講師の先生の活動はとても人気がありますので、こちらもぜひご参加下さい！

今年度も皆さんで笑って楽しみながら、素敵な作品を一緒に作っていきましょう！！



リハビリ活動

リハビリ活動では、体操やゲームなどを通じて、皆さんの日常生活の心身の維持・向上へ繋げていきたいと考えております。

基礎的な手足の体操の他に、棒・ボール・ペットボトルなど身近にある物を活用する事で、ご自宅でも行える体操を行っております。また、ゲームを交えることで楽しみながら身体を動かし、脳トレなどの考える活動を行うことで、全身を活性化します。そして、月に数回は作業療法士・理学療法士の先生も来てくださり、個別でのリハビリも重視しております。

皆さんとともに体操を行わせていただくことで、身近に感じていただければ幸いです。一緒にセンターで楽しい日々を過ごしましょう。



行事報告

お花見



今年の桜は例年よりも長く楽しめましたね。当センターでも、立石区役所通り（雨中は水元公園）にてお花見を行いました。

丁度見頃の時期にお連れすることができ、満開の桜に皆さんも満面の笑顔で、大成功のお花見となりました。

